

2005年2月19日

毎日新聞社ラリー事業室
ラリージャパン2004実行委員会
委員長 中島健一郎 様

十勝自然保護協会
会長 安藤御史
ナキウサギふぁんくらぶ
代表 市川利美
北海道自然保護連合
代表 寺島一男
(社)北海道自然保護協会
会長 佐藤 謙

北海道十勝におけるラリー大会に関する
環境調査報告等の資料提供および説明を求める要請

私たち北海道の自然を守る4団体は、北海道十勝におけるラリー大会の実施は、自然保護の上で大きな問題があると考えております。

貴実行委員会は、2001～04年のラリー大会運営に当たり、使用する林道の環境調査を実施し自然環境に配慮することを公に約束し、北海道や該当する市・町に対してもそのように説明してきました。「インターナショナルラリーイン北海道2001」の記者発表資料によりますと、貴実行委員会は、「環境調査結果などの情報は環境NGOなど第三者に対して内容を公開します。ご意見やご批判については、速やかに運営に取り入れ、問題については直ちに改善できる機動的・柔軟な組織にし、環境NGOとのパートナーシップを目指します」と述べ、「環境調査については資料を広く公開し、説明していく」旨を公に約束しております。以上の公に対する約束は、まことに重要なものと評価しております。

2004年夏(8月10日付)私たち連携する4団体の中で十勝自然保護協会は、貴ラリー事業室に「2004年WRC(世界ラリー選手権大会)の実施に先立って作成されたSS林道一帯における環境調査報告書」の提示を求めました。しかし、同事業室室長から、同協会と裁判係争中であるため提示できないとの回答がありました。また、ナキウサギふぁんくらぶもまた貴実行委員会に報告書提示を要請しましたが、それに対しても提示できない旨の回答がありました。

以上の回答は、貴実行委員会が実際に各種ラリー大会を毎年連続して開催してきた経緯から判断しますと、「環境調査の実施、自然環境への配慮、情報の公開」という公に対する約束をみずから無視したものであり、まことに遺憾であると考えます。いずれにしても、昨年12月21日、十勝自然保護協会と係争中の件に関して札幌高裁の判決が下りましたので、貴実行委員会は、係争中を理由とした公開拒否をただちに止め、公に対する約束を果たすべき時期にあると考えます。

私たち4団体は、ここに改めて、貴実行委員会に対して、2004年に使用したラリーコースの環境調査報告書の提示を求めたいと思います。また、同時に、2004年WRC新得に関する説明会の開催と、2005年に実施予定のWRCおよびAPRCのラリーコースに関する環境調査報告書の提供も要望します。貴実行委員会におかれましては、具体的には下記の項目について早急に対応していただけますことを、ここに強く要望する次第です。

記

1. 2004年に「WRC新得」に使用したSS林道一帯における環境調査報告書および関連資料について、4団体を代表して取り組んでいる十勝自然保護協会宛てに送付していただくこと。
2. 2004年に「WRC新得」に使用したSS林道一帯における環境調査報告書に関する説明会を、事後になります、早々に3月中旬までに、現地に近い十勝で行っていただくこと。
3. 2005年に実施予定の「WRCおよびAPRCのラリーコース」一帯における環境調査報告書と関連資料について、十勝自然保護協会宛てに送付していただくこと。

なお、1と3の報告書・資料の送付は、下記宛に郵送でお願いします。

〒080-0104 北海道河東郡音更町音更郵便局私書箱9号
十勝自然保護協会

また、2に関する回答は、以下に電話またはファックスにてお願いします。

〒080-0101 北海道河東郡音更町大通10丁目5
Tel・Fax 0155-42-2192